リリーフバルブ取扱説明書

有限会社サニーテクノ
神戸市灘区備後町5丁目3番1-311
Tel 078-811-8132 Fax 078-811-8133

（使用上の注意）

・ 本製品の取り付け方向は、必ず垂直にしてください。（下図通り）
⇒垂直にしないと、正常に作動しない原因となります。
・ 弁座用Oーリングは Oーリング溝内に正しく設置されてることを確認ください。
⇒ 移送中に弁座用Oーリングが Oーリング溝からずれてる場合があります。
⇒Oーリングがずれてますと、漏れの原因となります。
・ 弁座の設置方向は必ず機械加工面をOーリング側（下側）にしてください。
⇒ 機械加工面をOーリング側にしないと、漏れの原因となります。

（安全上の警告）

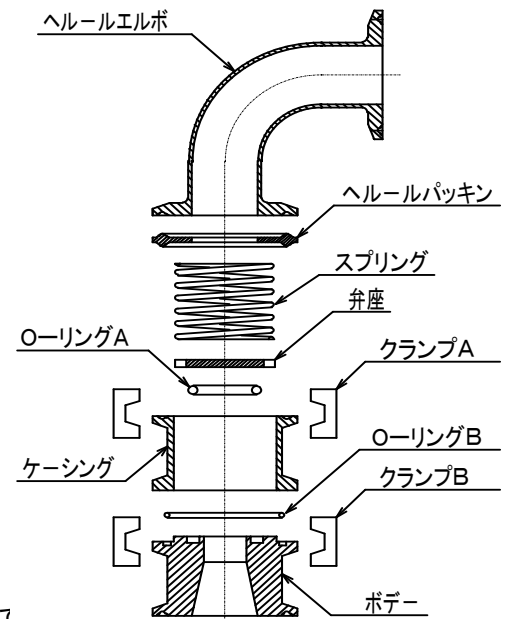
・吹出し部に顔や素手等を近づけないでください。
⇒突然の吹出しにより、ヤケド及び失明する恐れがあります。
・長期間放置しておいた場合、弁座とOーリングが付着したり、弁座部にゴミ及びホコリが蓄積する場合がありますので、使用前には必ず分解洗浄して弁座がスムーズに作動することを確認の上使用してください。
・分解する時は、ヘルールエルボを押さえながらクランプAを取り外してください。
⇒ヘルールエルボを押さえないで分解しますと、内蔵スプリングによりヘルールエルボが飛び跳ねて事故になる恐れがあります。（但し、RVタイプはこの恐れはありません）

（安全上の注意）

・使用圧力範囲は下記の通りです。
・RVタイプ：真空～大気圧
・RVPタイプ：真空～約0．05MPa
・使用温度はパッキン材質の許容範囲内で、使用してください。
・使用流体は基本的には気体及び蒸気です。
⇒液体に使用する場合は、吹出し時の圧力損失及び吹出し量を確認の上使用してください。

ヘルールエルボ
ヘルールパッキン
スプリング
弁座
Oーリング A
クランプ A
ケーシング
Oーリング B
クランプ B
ボデー

（分解組付）

・弁座の設置方向は機械加工面をOーリング側にしてください。
・弁座のOーリングとの当り面には、キズ等のないことを確認して使用してください。
・弁座とOーリングの間には、ゴミ及びホコリ等のないことを確認して使用してください。
・ヘルールエルボを装着する時は、スプリングのセンターの真上にヘルールパッキンと共に置いて、垂直に押さえながらクランプを締めて

（吹始め圧力／吹出し圧力／吹出し量）

・吹始め圧力（少しずつゆっくりと加圧した場合の初期の吹出し圧力）
但し、吹始め圧力は下記の要素により多少の変動はあります。
⇒加圧量、スプリングの装着状態、ゴミ、ホコリ、キズ等
・吹出し圧力（定量に連続加圧をした場合の吹出し圧力）
但し、吹出し圧力は吹出し量により変動します。

MODEL		吹始め圧力	吹出し圧力	吹出し量
		MPa	MPa	L/Hr
RV	10A	約0.001	約0.005	約1600
	1S	約0.001	約0.005	約1600
RVP	10A	0.04±10%	約0.05	約1800
	1S	0.04±10%	約0.05	約2800